

外郭団体特別委員会審査から①

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が7月20日と8月4日にひらかれ、日本共産党神戸市会議員団の山本じゅんじ議員、今井まさこ議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

7月20日 経済観光局

株式会社神戸商工貿易センター

六甲アイランド振興へ 神戸ファッションマートの賃料支援を

——— 今井まさこ議員

株式会社神戸商工貿易センターは、神戸商工貿易センタービルと神戸ファッションマート・神戸サンボーホールの管理運営をおこなっています。神戸ファッションマートでは、昨年度2億8800万円の黒字となっています。今井議員は「ファッションマートには人が少ない。店はコロナ禍ずっと赤字で家賃や共益費が高くて大変な思いをしている。人の流れをつくるためにもテナントの方々の声を聞き、黒字なら家賃補助や共益費の減額をすべきだ」と質しました。

答弁ダイジェスト

総務部長：黒字ではあるが、今後のビルの保全、持続的に発展させていくための利益は確保しないといけない。今年度は減額支援はしていないが、今後の状況によっては、個別にご相談があればお聞きしたい。

今井議員：駅には美術館に行かれると思われる方が多数いた。美術館に来る人をファッションマートに導いて活性化につなげてほしいという店主の声も聞いた。何か検討はされているのか。

総務部長：関係するイベントや催しがファッションマートでできないかと今協議をしている。

今井議員：美術館に行って終わりではなくて、ファッションマートで食事や買い物をしてもらうために、割引をするな

どは考えていないのか。

総務部長：連携の組織にも参画して工夫を考えていきたい。

今井議員：テナントの方々の声を聞き、皆さんが要望されている家賃補助や共益費などの減額も含めてファッションマートの活性化を積極的に進めていただきたい。



公益財団法人 神戸いきいき勤労財団
シルバー人材センター

高齢者の就労機会増やし、 社会参加広げよ

——— 山本じゅんじ議員

公益財団法人神戸いきいき勤労財団は、中高年齢者の福祉の増進や高齢者

等の雇用の安定等に関する事業等を行い、市民の福祉の向上と活力ある地域社会づくりに寄与することを目的として設立しました。山本議員はシルバー人材センター事業について、「働く意欲がある人にとって豊富な知識や経験を生かせる場所のひとつだ」と指摘し、高齢化が進む中で、就労機会や今後の役割・方向性など、変化に対応した新たな事業展開の必要性を求めました。

答弁ダイジェスト

常務理事兼事務局長：我々も定年延長などの法律改正に適應していく必要がある。センターに登録される会員年齢も年々上がっていているので、どのような仕事を開拓してご紹介したらいいのか、高齢者の就業拡大を今課題としている。

山本議員：フレイル（身体的機能や認知機能の低下が見られる状態）予防という意味での社会参加にもつながる。地域

に密着した事業により、大きな役割が出てくるのではないかと。

常務理事兼事務局長：現在地域密着事業では家事援助サービスなどがあり、高齢者が自宅で生活する中でニーズが生まれ、個人の方々からの依頼がある。

山本議員：加入者の年齢層が上がると、一般就労に近い仕事は難しくなる。長年生きてこられた中での生活の知恵や経験が生かせるのが、この地域に密着した事業かと思う。今後拡大し継続するのか。

常務理事兼事務局長：会員のニーズに合うかどうかも含め、今後事業展開を図っていきたい。

その他の質問

- ハッピーパックについて

公益財団法人 神戸市産業振興財団

- 神戸ブランドについて



利用者の願いに応え 公営での改修と再開を

——— 今井まさこ議員

一般財団法人神戸農政公社は、市民福祉の向上と市域の農漁業や里山・農村地域の発展を目的として、六甲山牧場や海づり公園、フルーツフラワーパークなどの運営をおこなっています。須磨海づり公園は、2018年の台風で被害を受けましたが、神戸市は改修に多額の費用がか

かるとして、現在休業したままにしています。今井議員は「日本初の公立の釣り公園として全国からも注目されたのに、現在は荒れ放題になっている。改修し、再開を求める声も多い」と公営の釣り場としての存続を求めました。

答弁ダイジェスト

今井議員：海づり公園が閉されたために、近くの漁場に立ち入る人が増え、投棄された釣り具で事故が起きて漁業者を悩ませていると2年前の記事がある。市民の皆さんが娯楽や釣りを安全に楽しむだけでなく、地域の漁場の皆さんと一定のすみ分けをするという目的もあると思

う。海づり公園の目的をしっかりと受け止めるなら今こそ再開するべきだ。

安岡担当局長：沖出しの釣り台は魅力的だが、この管理運営には膨大な費用がかかる。元通りには戻せないが、事業者がいれば残したい部分もある。サウンディング調査では、バーベキューを検討したいという方もいた。今後、活用や用途など検討していきたい。

今井議員：自然と親しんで単純に釣りを楽しみたい人にとって、バーベキューは本当にいいのかと思う。事業者がいればというが、現在難航していると聞いている。やはり今までと同じように公営の釣り場として存続するように努力すべきだ。

8月4日 建築住宅局

空き家のリノベーション 支援強め市の責任果たせ

——— 山本じゅんじ議員

一般財団法人神戸すまいまちづくり公社は、株式会社こうべ未来都市機構との事業再編により、まちづくり関連の業務を移管し、一般財団法人神戸住環境整備公社と名称変更されました。公社は、空家・空地対策として「新たな住まい方、暮らし方 in 名谷」と題し、ニュータウンのマンションと戸建て、1戸ずつを子育て世帯向けにリノベーションして売り出すための民間事業者を公募、選定しま

した。山本議員は「人口減少に歯止めが利かなくなったことで起こっているニュータウンの空き家問題は、本来なら民間ではなく市と公社が果たすべき役割だ」と質しました。

答弁ダイジェスト

常務理事：あくまで我々は情報発信や啓発をし、リノベーションに興味を持っている方など一般流通の呼び水になるよう先導する。主力の市場流通はやはり民間の役目だ。

山本議員：一般の流通だけで人を誘導するのは難しいのではないかと。例えば菅の台だけでなく神の谷や北落合など、小学校の児童が少なくなっているようなところなど、視野を広げて事業展開すべきだ。

常務理事：市内全域見渡すと、本当に

広いエリアで空き家の問題が起こっているの、公社が全域をカバーするのは厳しい。この次の展開ということになると、市とも施策連携しながら、どこでやるのが効果的なのかということも協議しながら考えていく。

山本議員：以前からある程度先の人口減少の課題は見てたはずだ。本来なら市が先に手を打っていないといけないところだ。民間に任せるだけでなく、これまでの高倉台や鶴甲の取り組みを一定評価しながら、今後のニュータウン対策の1つとして、神戸市と民間との間で公社がきちんと先を見据えて提案する必要がある。

その他の質問

- すまいるネットについて

8月4日 港湾局

歴史的建造物活かし、 住民本位で港の活性化を

——— 今井まさこ議員

株式会社ウォーターフロント開発機構は、「港都 神戸」グランドデザインの策定に基づいて、都心・ウォーターフロントの将来構想を踏まえながら企業と協働で再開発を進める目的で設立しました。対象となる地域は、税関をはじめKIITOや三井・住友・三菱倉庫などの昔からの財閥の倉庫があるエリアも含まれます。住友倉庫は解体され再開発が計画されています。今井議員は「古い建物だが、神戸の産業の歴史を物語る地域だ。市民の皆さんの意見を聞いて、歴史的な地域を生かしたものにすべきだ」と追及

しました。

答弁ダイジェスト

常務取締役：調査の結果、非常に使いにくいという声もあり、将来的には解体し新たに企業誘致をしていく方向で進めている。

今井議員：それは企業の理論だ。神戸市民がこの地域をどう活用したいのかという意見を公募してほしい。

常務取締役：非常に古く、もし改装して使った場合、かなりのコストがかかるという意見。

今井議員：神戸市は長寿命化計画として、小学校などを100年間使うということも考えられている。本当に倉庫を生かそうと思うならコストではなく、この神戸の歴史をどう次世代につないでいくのかという観点が重要だ。

常務取締役：ウォーターフロントエリ

アで働いている方、若い方々を中心に47名でワークショップを開催したら、新たに神戸らしい取り組みをしてほしいという意見が多かった。

今井議員：歴史をつないでいくために、地域住民を数百人集めている町もある。47人では少ない。企業の儲け優先で一方向的に決めるのではなく、市民の皆さんの声を聞いて進めていくべきだ。

9月14日より9月議会がはじまります

- 9月14日 本会議（議案質疑 未定）
- 9月15日・16日 常任委員会
- 21日・22日 本会議（代表質疑）
- 26日～10月5日 決算特別委員会
局別審査
- 10月11日 決算特別委員会総括質疑
- 13日 意見表明・意見決定
- 17日 本会議（議案質疑 未定）
- 18日・19日 常任委員会
- 24日 本会議（討論）
- 25日 本会議（一般質問）